

血糖変動チェックプランの提供開始について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、ヘルスケア事業の一環として、お客様がご自身の血糖¹の変動を自らチェックでき、生活習慣の改善に取り組んでいただける「血糖変動チェックプラン」（愛称：じぶんで血糖チェック）（以下「当プラン」）を開発し、2021年8月より法人向けの有償サービスとして一部地域にて提供を開始します。

当プランは、2020年7月に本格展開を開始した「糖尿病予防プログラム」をベースに開発したサービスです。「糖尿病予防プログラム」でも使用しているアボットジャパン合同会社の「FreeStyle リブレ」を活用して、お客様ご自身がリアルタイムで血糖変動をチェックすることができ、測定結果を専用 Web サイトに入力いただくことで、日本生命病院の糖尿病専門医によるアドバイスをお受け取りいただけます。

日本国内における研究事業²によると空腹時血糖は正常値であっても、食後の短時間だけ急激に血糖値が上昇するといったケースは、一般的な健康診断などでは見逃されやすいと言われております。また、食後の血糖値が高い状態が続くことで血管が傷つけられ、動脈硬化が進み、放置しておくと脳卒中や心筋梗塞などを引き起こす恐れもあります³。当プランでは「FreeStyle リブレ」を活用することで、血糖変動をリアルタイムで確認することができ、一般的な健康診断や人間ドックなどでは測定できない食後の血糖の動きもチェックすることができます。生活習慣などによって、空腹時血糖が正常や境界域にある方でも食後の血糖値が高くなる場合があることを、当プランを通じて「知る」ことが、生活習慣の改善に取り組む第一歩となります。

当社は、今後もより多くのお客様にご利用いただけるヘルスケアサービスの拡充に努め、引き続きお客様の健康をサポートしてまいります。

¹ 当プランで使用する「FreeStyle リブレ」では間質液中のグルコース値を測定します。血管を流れる血液中のグルコース濃度が「血糖値」であり、血糖値と間質液中のグルコース値の間には、高い相関関係があることが証明されています（アボットジャパン合同会社 HP 抜粋）

² 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業

³ 国立研究開発法人国立循環器病研究センターHP 参照

《血糖変動チェックプランの概要》



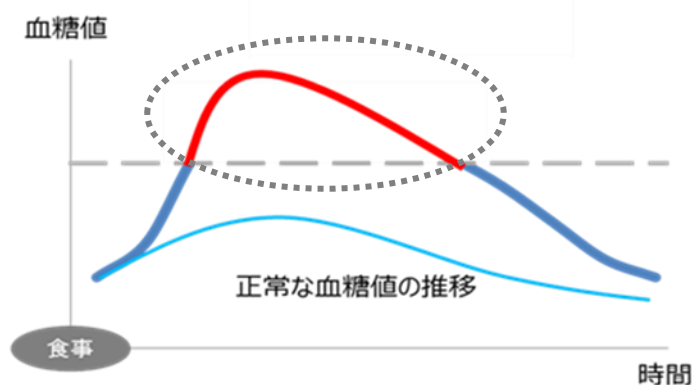
《血糖変動チェックプランで使用する機器》

	<p>FreeStyle リブレ</p> <p>アボットジャパン合同会社が提供する血糖モニタリングツールです。2週間の間質液中のグルコース値を測定します。(24時間自動測定)</p>
---	--

《参考》空腹時血糖と食後血糖

厚生労働省の「国民健康・栄養調査」（令和元年）では、「糖尿病が強く疑われる」方の割合が14.6%、「糖尿病の可能性が否定できない」方の割合が12.7%であり、糖尿病予備軍はおよそ1,000万人と推計できます。糖尿病は進行に伴い、さまざまな合併症を引き起こす恐れがあり、医療費にも影響を与える可能性があることから、健康保険組合や共済組合などの保険者にとっても糖尿病の発症予防・重症化予防は重要な取り組みのひとつです。

糖尿病は血糖値が高い状態が慢性的に続く病気ですが、一般的な健康診断や人間ドックで行う血糖値検査では10時間以上絶食した状態の空腹時血糖を測定しており、食後の血糖値は検査されません。空腹時血糖が正常であっても、食後の血糖値が急激に上昇し、140mg/dl以上になることは珍しくありません。食後の血糖値の変動は一般的な健康診断や人間ドックでは見逃されやすく、糖尿病を指摘されなかったとしても、実は血糖値が大きく上下している場合があるため、食後血糖を定期的にチェックすることも大切です。



《参考》公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院

日本生命済生会は、1924年、日本生命によって「相互扶助」「共存共栄」という生命保険事業の精神を实践する場として設立されました。設立当初より「済生利民」を基本理念とし、1931年には「日生病院」を開院するなど、今日に至るまで医療を通じた社会貢献活動に取り組んできました。2012年4月には、地域に対して「予防・治療・在宅まで一貫した総合的な医療サービス」を提供してきたことが評価され、大阪府より公益財団法人として認定を受けました。また、2018年4月の新築移転を機に、病院名称を「日生病院」から「日本生命病院」に改め、診療科の新設、最新医療機器の導入、女性病棟の新設など、より安全・安心に、最新・最適な医療を受けていただける体制を整えております。

以上

2021-1314G, 広報部